



2025年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社バローホールディングス
代表者の役職名 代表取締役会長兼 CEO 田代正美
(コード番号: 9956 東証プライム市場・名証プレミアム市場)
問い合わせ先 常務取締役管理本部長 篠花 明
電 話 番 号 (0 5 7 4) - 6 0 - 0 8 6 4

**資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について
(アップデート)**

2024年5月14日に公表いたしました、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」に関し、あらためて当社の現状分析と課題認識を行い、今後の改善に向けた取組み等の内容をアップデートしましたのでお知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)」をご参照ください。

以 上

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について
(アップデート)

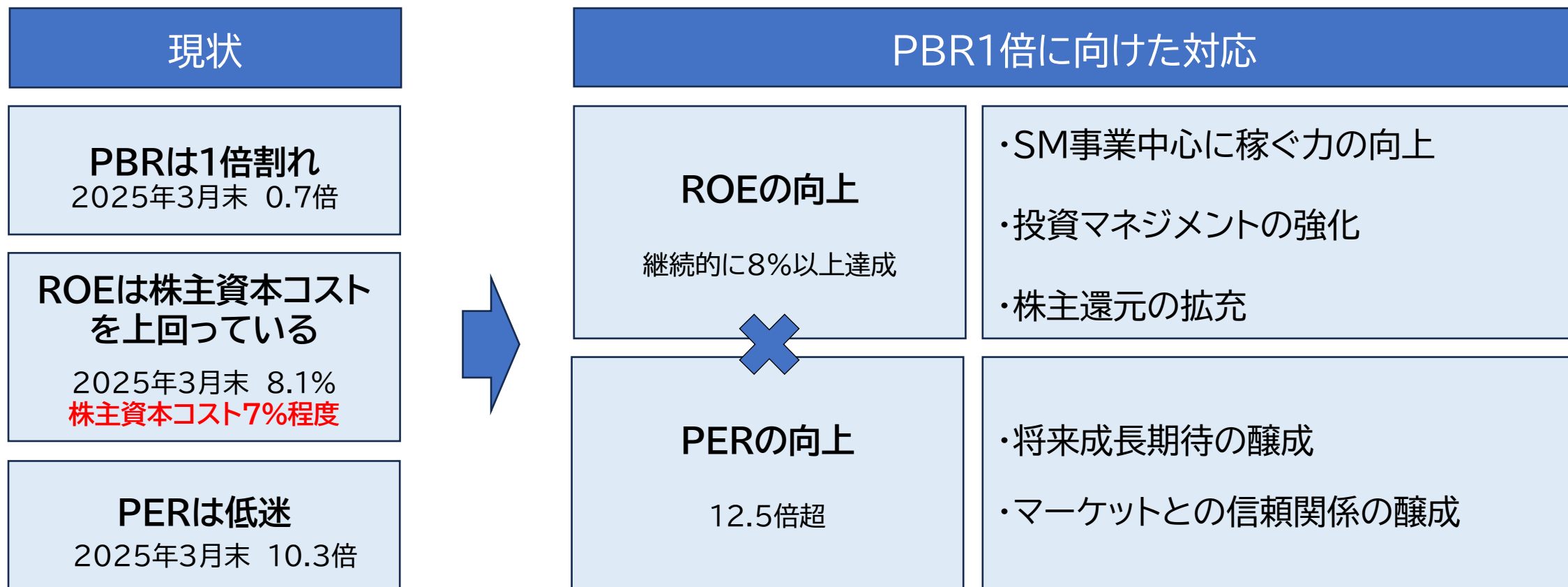
株式会社バローホールディングス(9956)

2025年5月13日

■サマリー

2024年5月14日公表の、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をアップデート

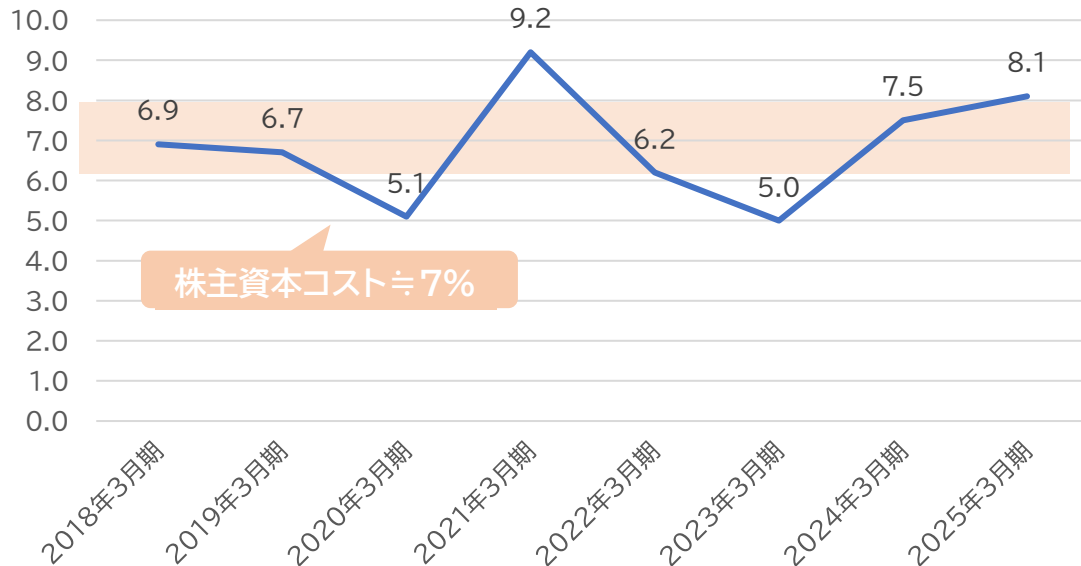
- 2025年3月末は、PBR0.7倍。ROE8.1%、PER10.3倍。
- 資本コストを意識した経営の実現によりROE及びPERの向上を図り、早期のPBR1倍達成を目指す。



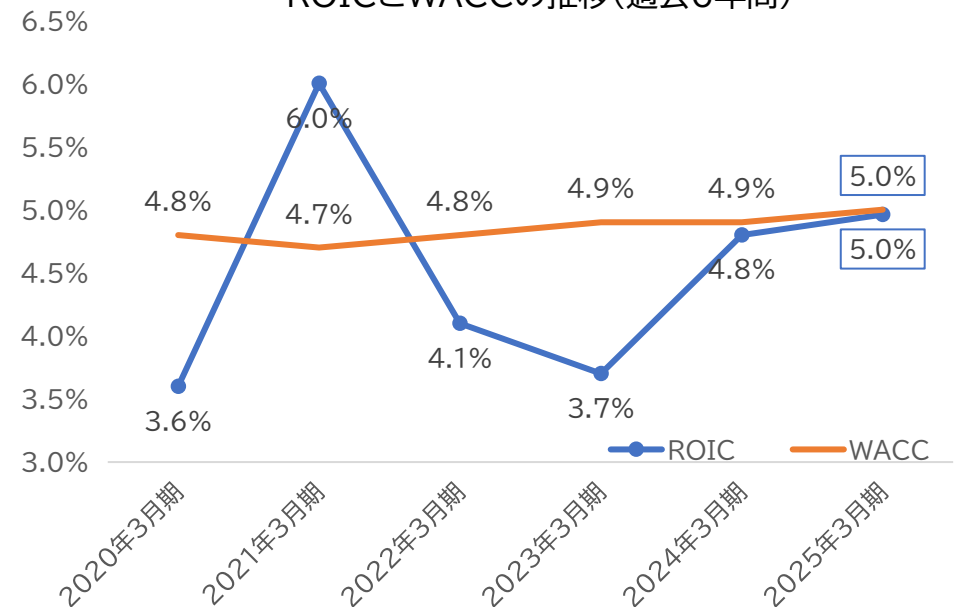
■現状分析 1 ROEは株主資本コストを上回る

- 株主資本コストは7%程度、WACCは5%程度と認識(当社計算による)。
- 2025年3月末のROEは8.1%。2年連続で株主資本コストを上回った。自己株式取得と減損損失の縮小が寄与。
- ROICは5.0%。賃上げ税制等を含む、税効果会計適用後の法人税等負担率の低下が寄与。
- ▶ 今後も、中期経営計画の達成、投資収益性の改善に取り組み、株主資本コストを継続的に上回るROE8%以上、長期的には10%を目指す方針。

株主資本コストとROE

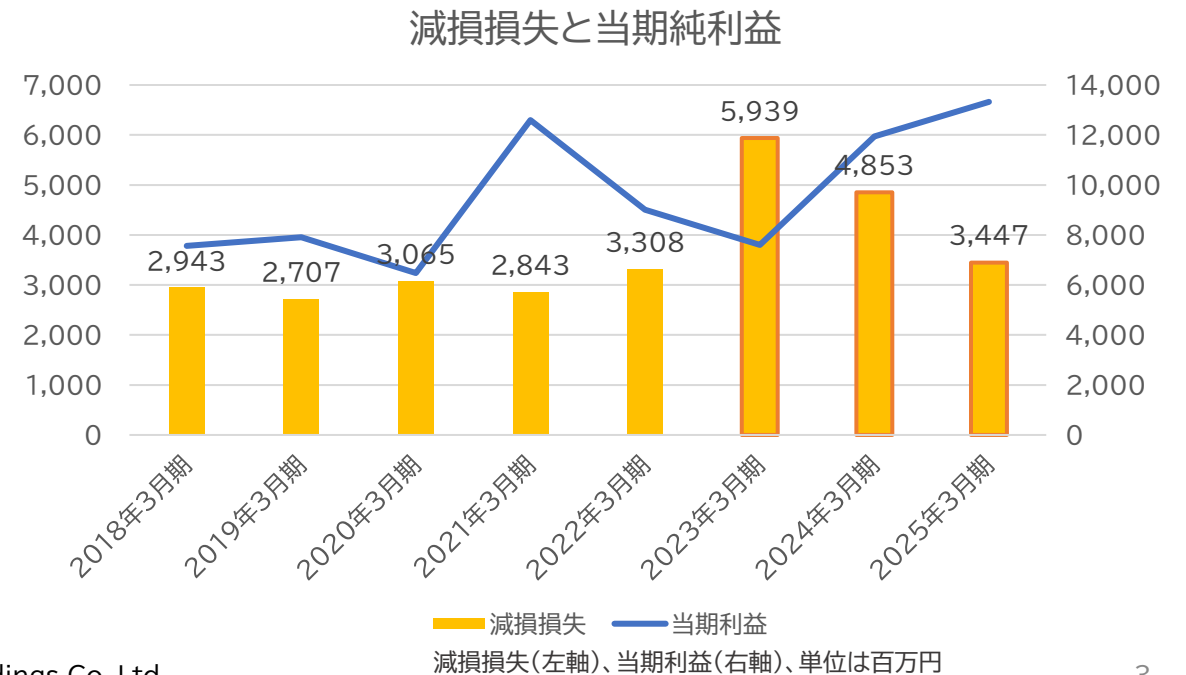
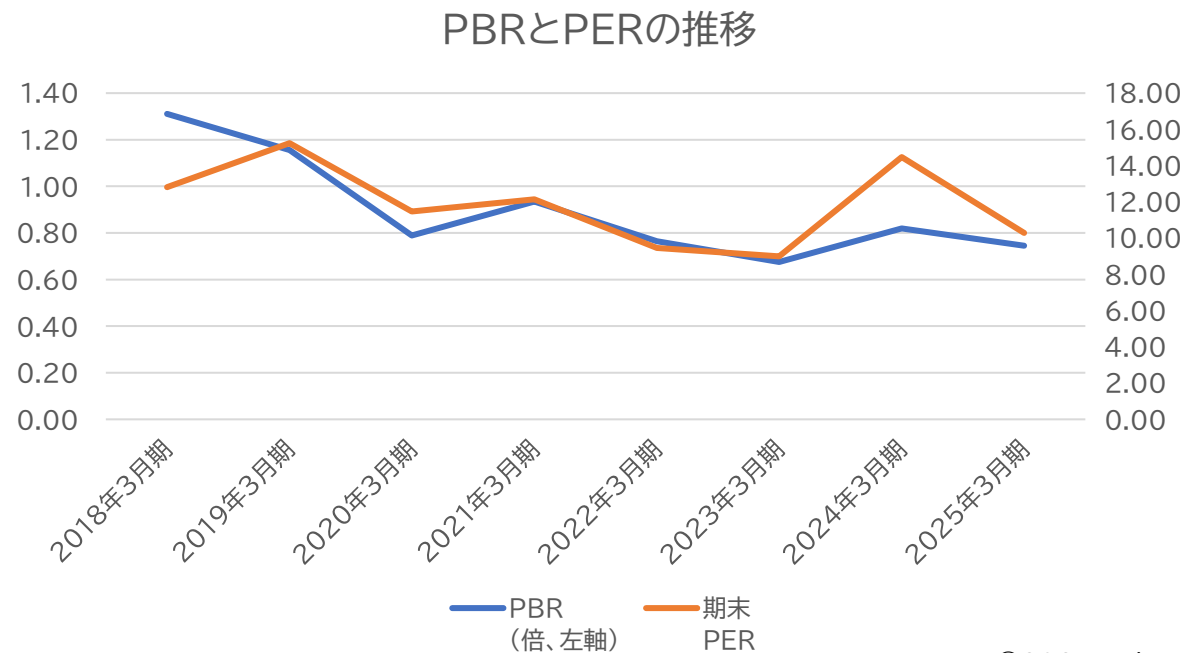


ROICとWACCの推移(過去6年間)



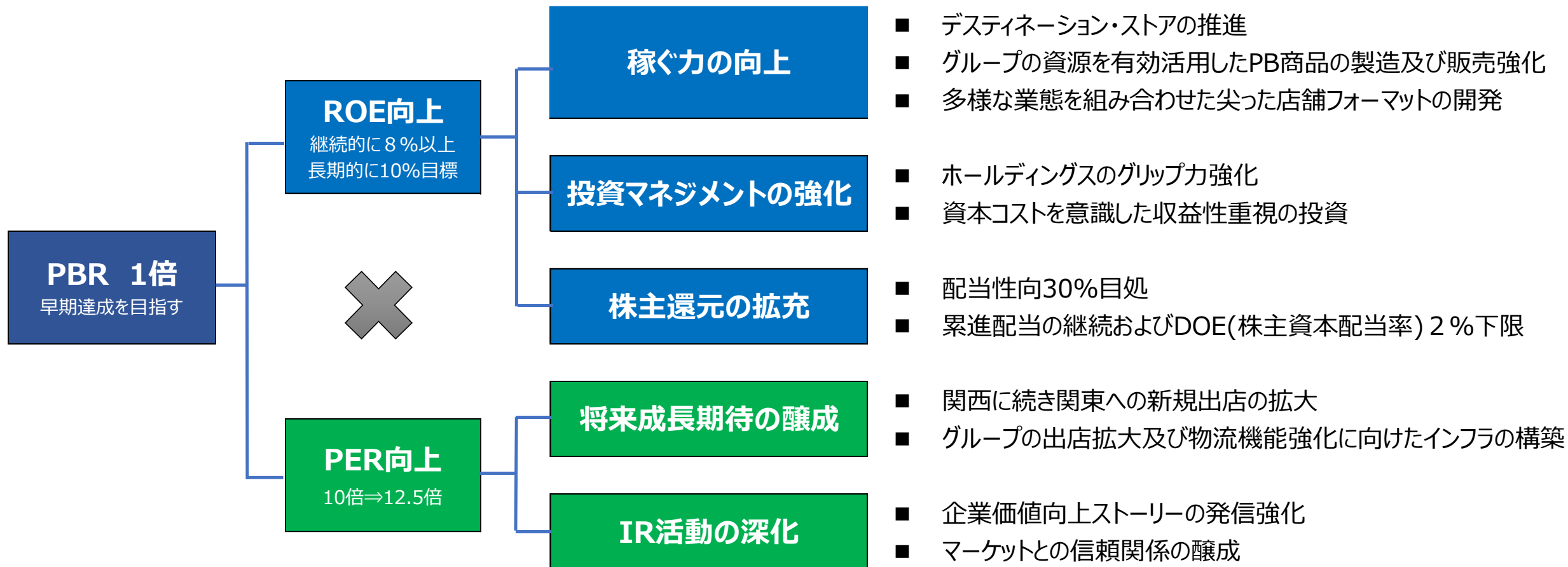
■現状分析 2 PBRの1倍割れ及びPERの低位が続く

- 2025年3月末のPBRは0.7倍。2020年3月期以降、PBR1倍割れが継続するのは、特に、コロナ禍収束後の収益力の低下に伴う減損損失の増加、その結果として株主資本コストを下回るROEが続いたこと、さらにPERの低迷等が要因と認識。なお、前項の通り、直近の2年間のROEは改善傾向であり、当社株主資本コストを上回っている。
- 2025年3月末のPERは10.3倍。PERの低迷が続くのは、業績予想の未達による投資家の信頼の低下も要因の一つと分析。
 - 今後はPBR1倍に向けて、マーケットとの信頼の醸成を第一に、稼ぐ力の向上や減損損失の低減等による業績予想の達成と共に、企業価値向上ストーリーの発信強化によりPER向上を図る。



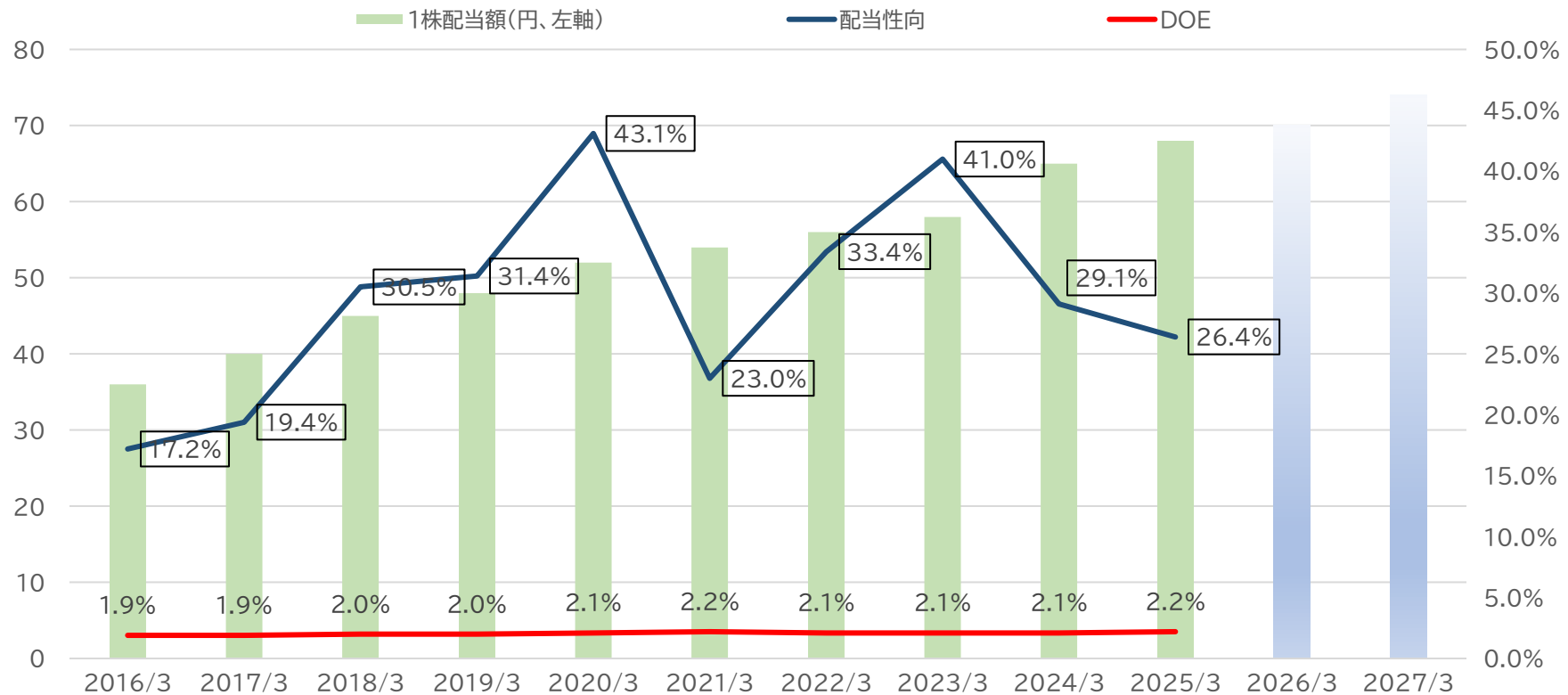
■PBR改善に向けた取り組みとROE・PER向上対策

➤ 早期のPBR1倍の達成及び継続的にROE8%以上を目指す(ROEは長期的に10%を目指す)。



株主還元方針の継続

- 2025年3月期の総還元性向は、22.8億円の自己株式取得により43%
- 配当性向は引き続き30%を目途とし、累進配当制度も継続
- DOE(株主資本配当率)も2%を下限として継続
- 成長戦略に基づく高水準の投資と株主の期待に応える利益還元との最適なバランスを意識



創造先取挑戦

valor[®] Holdings

<https://valorholdings.co.jp/>